

本表の略記法について

リソースに出現する CodeableConcept 型の要素は以下のような構造をとる。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
n	要素名				0..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
n.1		coding			0..*	Coding		表現したいコンセプトのコード記述。 繰り返しにより複数のコード体系によるコーディングで記述できる。
n.1.1			system		1..1	uri	“http:.....”	コード体系。
n.1.2			code		1..1	code	“B0EF”	コード。
n.1.3			display		0..1	string	“持続腹痛”	コード体系におけるコードに対応するの表示名
n.2		text			0..1	string	“長く続く腹部の痛み”	表現したいコンセプトのテキスト記述

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。値の欄は、4 つの行(子要素)に使う値を列挙するが、省略することもある。多重度の記載は、1 段目に CodeableConcept 型の要素自体の多重度、2 段目にその子要素 coding の多重度(上表 n.1 の多重度)を転記している。

n	要素名				0..1 0..*	CodeableConcept	“http:.....” “00” “持続腹痛” “長く続く腹部の痛み”	説明
---	-----	--	--	--	--------------	-----------------	---	----

なお、coding の多重度の最小値が 0 (すなわち省略可能) の場合には、コードによる記述をせず、以下のようにテキストだけで記述することも許されている。

表 CarePlan リソース 診療方針指示情報

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
1	resourceType						“CarePlan”	<b>CarePlan</b> リソースであることを示す
2	text				0..1	Narrative		本リソースをテキストで表現したものを入れてもよい。
2.1		status			1..1	code	“generated”	固定値。テキスト内容の全てがリソースのコンテンツから生成されたことを示す。
2.2		div			1..1	xhtml	<div xmlns=“http://www.w3.org/1999/xhtml”>xxx</div>	値は例示。
3	identifier				0..1	Identifier		この情報に付番された ID

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
3.1		system			1..1		"urn:oid:..."	付番方法については「識別子名前空間一覧」を参照。値は例示。
3.2		value			1..1		"2020-10-002933"	情報 ID の文字列。値は例示。
3	status				1..1	code	"active"	<p>プランのステータス。</p> <p>コード表:  "http://hl7.org/fhir/request-status"</p> <p>draft   active   on-hold   revoked   completed   entered-in-error   unknown など。</p> <p>案、有効、保留、取消、完了、エラー、不明</p>
	Intent				0..1	code	"plan"	<p>趣旨区分。</p> <p>コード表:  "http://hl7.org/fhir/request-intent"</p> <p>proposal   plan   order   option  提案 計画 指示 オプション</p> <p>退院時方針では、内容によりいずれにもなりうるので、適切なコードを適宜選択して使用する。</p>
	category				0..1	CodeableConcept	"http://jpfhir.jp/fhir/CodeSystem/careplan-category" "discharge-plan"	<p>プランのタイプ</p> <p>"discharge-plan"(退院時プラン)</p> <p>固定値。</p>

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	title				1..1	string	“退院時方針”	プランの標題名称。 “退院時方針” 固定値。
	description				1..1	string		プランのサマリー。 退院時方針”では、ここに具体的な内容を叙述的に記述する。
11	subject				1..1	Reference(Patient)		患者を表す <b>Patient</b> リソースへの参照。
	encounter				0..1	Reference(Encounter)		対象となる退院情報を含む入院詳細情報
	period				1..1	Period		このプランがカバーする期間
		start			1..0	dateTime		退院日または退院日以降のこのプランのカバー開始日付。
		end			0..1	dateTime		退院日または退院日以降のこのプランのカバー終了日付。通常省略されるが、ひき続き、次のプランに引き継ぐ場合には終了日付が入る。
	created				0..1	dateTime		このプランが最初に作成された日付
	author				0..1	Reference(Practitioner)		このプランの責任者情報への参照
	contributor				0..*	Reference(Practitioner PractitionerRole)		このプランの内容提供者情報への参照のリスト。当面未使用。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	careTeam				0..*	Reference(CareTeam)		このプランに関わるケアチーム情報への参照のリスト。当面未使用。